

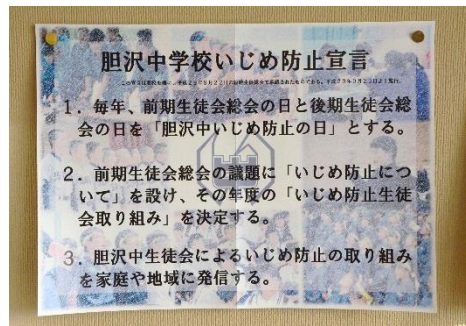
えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

全員で話し合い、いじめ撲滅を誓う

12月6日(金)、後期の生徒会総会が行われました。胆沢中学校生徒会は、前期と後期の生徒会総会の日を「いじめ防止の日」と定め、議題の中に「いじめ防止の生徒会の取り組み」を話し合う場を設け、具体的な取り組みを決定しています。私はこの日は出張だったので、残念ながらその様子を見ることは出来ませんでしたが、皆熱心に話し合いに参加し、いじめ撲滅への決意を新たにしていたそうです。

校舎のあちこちには、このような「いじめ防止宣言」が掲示されています。今年度10月末現在で、胆沢中でい



じめ事案として認定したケースは14件で(検討事案はその何倍にも上ります)、昨年度同時期比で6件減となりました。いじめ事案の発覚は、本人からの訴えが一番多く、いじめを一人で抱え込まず相談しようとする機運が着実に根付いてきている様子が見えます。一方保護者からの情報提供によって初めてわかったケースもあるので、さらにアンテナを高くして、いじめの未然防止といじめを生まない風土作りに継続して取り組んでいく必要性を感じているところです。

いじめの内容の多くは、ちょっとしたからかいや、突発的に起こった心や体の行き違いに起因するものでした。学校で起こった問題に関しては、関係する保護者に速やかに事実の報告をさせていただいておりますが、いずれも学校の指導方針に理解を示し、家庭での事後指導がしっかりと行われていることが大きな事案の発生防止につながっていると考えます。

いじめ撲滅をめざす学校や生徒会のいじめ防止の取り組みについて、引続きご理解とご協力をいただくようお願いいたします。

今回の学習コンクールの内容は?

We love English!		
Class	No.	Name:
No.	English	日本語
1	My brother is a soccer player.	私の兄(弟)はサッカー選手です。
2	Tom and Ken are good friends.	トムとケンはいい友達です。
3	I walk to school every day.	私は毎日歩いて学校へ行きます。
4	She likes basketball.	彼女はバスケットボールが好きです。
5	No, thank you.	(物をすすめられて) けっこうです。
6	Here you are.	はいどうぞ。
7	May I talk to Tom?	トムと話せますか。
8	How about going shopping?	買い物に行くのはどうですか。
9	I am interested in foreign cultures.	私は外国の文化に興味があります。
10	She is able to speak English.	彼女は英語を話すことができます。

目指せ、コンプリート!

この10の英文は、学習委員会による第2回校内学習コンクールの課題です。1年生にはちょっとレベルが高いと感じる人がいる一方、受験生である3年生には物足りないレベルの問題?ではないかと個人的に思いますが、保護者の皆様はいかがでしょうか。これからの日本は、英語教育にますます力を入れていくことになります。是非その流れに乗り遅れることがないように、まずはこの10問の英文をしっかりと自分のものにしてほしいと思います。

70点以上が合格となります。結果について、是非ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。

ご結婚おめでとうございます

12月9日の大安吉日の日、吉田先生が東京で結婚式を挙げました。奥様は養護教諭で、県北沿岸に勤務していたときに知り合われたと伺っています。

送ってもらった写真を職員室に飾っていますが、多くの生徒が立ち止まり食い入るように見ていきます。中には「いいなあ」とため息をついている人もいます。年の瀬に届いた今年一番のビックニュースに、学校も温かい雰囲気になりました。

どうかいつまでのお幸せに!



胆沢プライド合同トレーニング始まる



胆沢プライド合同トレーニングが始まりました。正味20分ほどの活動ですが、真剣に取り組むと玉のように汗が出てくるほどとてもハードなトレーニングです。生徒たちが真剣に取り組む姿を見て、今年の陸上の大躍進ぶりはここで培われたものと確信しました。是非高い志を持ち、全力で取り組んでいきましょう。

ついに冬将軍到来となりました。そんなときに頼りになるのが野球部です。よく見ると皆長靴を履いており、除雪作業にはうってつけです。登校した人から当たり前のごとく道具を手にして外に飛び出していきます。広大な敷地を有する胆沢中学校には、まさになくはならない存在です。本当に助かります。これからも頼りにしていきます。そしてありがとう!

胆沢中の冬の風景二題

さて雪が降ってから、昼休みはなぜか外で遊ぶ人が増えてきました。よく見ると半袖ハーフパンツの人もけっこういます。しかもその大半が3年男子で、「さすがは3年生!」と感心しつつ、「大丈夫か受験生?」と少し(いやかなり)心配になったりもします。冬に心身を鍛えるために、乾布摩擦や寒中水泳といった修行めいた行動を見聞きすることがありますが、くれぐれも過信は禁物です。TPO(時と所と場合)に応じて服装や行動を整えていきましょう。



赤い羽根共同募金に取り組みました

環境福祉委員会が赤い羽根共同募金を行いました。早朝の寒い廊下での活動となりましたが、「募金お願いします」の大きな声に誘われ、たくさんの方が足を止めて募金をしていました。ところでこの募金は、いったいどこに行くものなのか皆さんご存じでしょうか。



共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後は地域福祉の推進のために活用されてきました。社会が変化する中で、共同募金は誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、現在も各地で取り組まれています。

ボランティア活動は、胆沢プライドを支える大切な活動の一つです。これからも胆沢中学校は、ボランティア活動に積極的に取り組んでいきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

県愛鳥週間ポスターコンクール

おめでとう 佳作 3年 千田 春野

岩手県の県鳥、そして国鳥でもある雉(きじ)をモチーフにした力作で、最優秀、優秀に次ぐ佳作5点の中に見事選ばれました。以前、生徒会スローガン「躍」と雉を関連付けた話題をえぐねで紹介したことがあったので、私もうれしく思っているところです。まなびフェストの自己評価の中に、「興味・関心を膨らませ、作品作りや研究、各種応募に挑戦している」という設問があります。実はこのような機会は思いの外多く、校内に掲示しているポスター等でもまめに紹介しています。冬休みは「これは!」と思うコンクールには是非積極的に挑戦していくことお勧めします。

